

民生福祉常任委員会記録
(議案分)

平成28年9月23日

【開催日】 平成28年9月23日

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午後1時～午後2時42分

【出席委員】

委員長	下瀬俊夫	副委員長	矢田松夫
委員	石田清廉	委員	岩本信子
委員	小野泰	委員	三浦英統
委員	吉永美子		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	尾山信義		
----	------	--	--

【執行部出席者】

健康福祉部長	河合久雄	こども福祉課長	川崎浩美
こども福祉課課長補佐	大瀨史久	こども福祉課主査兼子育て支援係長	別府隆行
こども福祉課保育係長	山田寿実子	こども福祉課非常勤特別職	冨永恵美子
こども福祉課臨時職員	北嶋祥子		

【事務局出席者】

事務局長	中村聡	庶務調査係長	島津克則
------	-----	--------	------

【付議事項】

- 1 議案第88号 建物等の取得について（こども福祉課）
- 2 所管事務調査 子ども子育て支援について

午後1時 開会

下瀬俊夫委員長 ただいまから民生福祉常任委員会を開催いたします。本日は、お手元の審査日程のように議事を進めたいと思います。最初に議案第88号建物等の取得について、執行側からの説明を求めたいと思います。

川崎こども福祉課長 議案第88号について御説明します。これは、子育て総合支援センターとして整備するため、建物等を取得することについて、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求めるものです。当議案については、当初の議案提出スケジュールに間に合うように作業をしていましたが、この度の購入については、施設の用途によって購入金額の減額ができる公共随契の方式で行うこととしたため、山口財務事務所からの売払決定通知をいただくまでに不測の時間を要し、この度追加議案とさせていただいたものです。当該物件については、施設廃止後の平成21年度から今年1月まで入札による売出しがされましたが、応札がなかったために2月から先着順による売払い手続が行われるところでした。先着順での購入であれば、本市が一番先に手を挙げれば、すぐに購入決定をいただけた可能性はありましたが、予算措置前であったことや他者が先に手を挙げる可能性もあったことから、確実に購入でき、更に減額措置が受けられる公共随契を選択いたしました。これにより公共随契に必要な資料の提示、山口財務事務所での審査に時間が掛かり、売払決定通知を受けたのが9月8日となったため、当初の議案提出には間に合いませんでした。この子育て総合支援センター整備事業については、購入契約後速やかに実施設計を行い、来年度の改修工事経費を見積った上で予算要求する必要がありますので、この度追加で議案を提出させていただいたものです。取得する物件は、山陽小野田市掃山一丁目1723番19に所在する旧小野田労働基準監督署とそれに付随する土地等で建築面積589.06平方メートル、延べ床面積950.23平方メートル、土地は1,499.99平方メートル、立木竹157本、工作物一式となっています。取得価格は6,597万3,000円で、取得の相手方は国となります。なお、参考資料として、工作物の明細、物件の位置図、配置図、現況の平面図、立面図を添付しています。説明は以上でございます。御審査のほどよろしくお願いいたします。

下瀬俊夫委員長 それでは委員の皆さんから御質疑を受けたいと思います。

吉永美子委員 まず皆さんが気にしておりますエレベーターについてなんですが、これはもう設置の方向というふうに思っていてよろしいでしょうか。

大濱こども福祉課課長補佐 エレベーターについては要望が少なからずあるというのは承知しております。今、このエレベーター設置について様々な、構造的に大丈夫かとかいろいろな方式がありますので、検討はしている

ところでは。

吉永美子委員 これは絶対に付けていただかないってところじゃないでしょうか。それで構造的にと言われますけど、これは当然山陽小野田市に1級建築士がおられるわけですから、見ていただいたら分かる程度のものではないかなと思うんですけど、構造的にということはいつぐらいいにはっきりするものなんですか。

大濱こども福祉課課長補佐 これから実施設計を出すようになるんですけども、出すまでにはエレベーターを付ける図面を設計するのかどうかというのは決まってこようかと思えます。

吉永美子委員 これはもう是非付けるという方向で、当然でありますと考えていただきたいし、いわゆる費用というところから考えても、もとは8,000万強を考えておられて、それが国の配慮によって6,600万弱ということになったわけですから、単純に言えば思っていたより1,400万ほど安く手に入るということで、エレベーターがどれぐらい掛かるか分かりませんが、そのかなりの金額をそこに入れることができるのではないかと考えております。是非お願いしたいということと、あと改修費に3,000万ということですが、改修費は実際どのようなところで改修を考えておられるのかお聞きします。

大濱こども福祉課課長補佐 改修費につきましては、基本構想を3月議会でお示しいたしましたけれども、その中でキッズキッチンを設置するに当たり、シンク等を付けたり、プレイルームがございまして、旧労働基準監督署にはカウンターとかが設置してありますので、そういったものの撤去、そして、予定ではプレイルームについては靴を脱いで上履きで過ごしていただくように計画をしておりますので、床の張り替えとか、そういったものを予定しております。トイレにつきましても幼児用トイレを新設する予定としております。なお、この3,000万という金額にはエレベーターの設置は含まれておりませんので、もしエレベーターを設置ということになれば、その金額も膨らむのかなというふうには考えております。

吉永美子委員 当然エレベーターは入っていないという配置案、前いただいて、市民にはまだ配らないでくださいとっていただいた中にも当然エレベーターが入っておりませんので、付ける金額は入っていないというのは

分かった上でお聞きしているんですが、そうなるそうですね、今、お話はなかったんですけども、これは外、いわゆる駐車場の整備とかそういった外で例えば遊ぶとかそういうような金額は入ってきてはいないということでしょうか。

大濱こども福祉課課長補佐 今の旧小野田労働基準監督署の敷地には駐車場として多くて20台ぐらい確保できるかなというふうに考えておりますが、それを更に潰して、例えば遊べるようなスペースを設けるとなると、更に駐車スペースがなくなるというふうに考えておりますので、その辺りは利用状況等勘案する中で外に遊戯施設を造るのであれば考えていきたいと思っておりますけど、今のところはまだ駐車スペースを確保するのが第一と考えております。

吉永美子委員 やはりお天気のいいときとかにお外で遊びたいという気持ちは出てくるのではないかと思うんですけども、それは今後の課題として置くとしたしましても、先日の一般会計決算常任委員会の中で報告をされているのが、年間5,800人程度、講座等の開催は230回程度を見込んでいますということをおっしゃっているんですね、執行部として。これは20台で、今、車社会ですから、お一人が1台で来る可能性が大変高いんですけども、20台でこれだけの講座の回数、年間5,800人程度見込んでいるということで、これ20台で賄えるというふうに思っておられるんですか。

大濱こども福祉課課長補佐 今の20台ということであれば、予定しているのが各種健診、1歳半健診とかそういったものも検討しているところがあります。先日小野田保健センターのほうに、実際の実施状況を見に行きましたけど、やはり20台程度を確保したとしてもかなり手狭なのかなという認識はあります。当面は旧労働監督署の横に市有地がございますので、その辺りを活用しながら対処したいというふうに考えております。

吉永美子委員 市有地はどういう状況で、どのぐらいの広さがあるのでしょうか。

川崎こども福祉課長 市有地は大変面積がございます。3,000平米程度はあろうと思います。今は草が生えた状態で、市の職員の管理によって民間に工事の資材置き場として貸すこともあるような状況でございます。

下瀬俊夫委員長 その市有地は市の土地ね。

吉永美子委員 やはり車で来てみたら置けないとかそういう状況、最初から絶対に作ってはいけないと思うんですけども、30年ですかね。平成30年にオープンするときには駐車場のスペースはきちんと確保するというところで、この市有地も入れて考えていくというふうにはできないんでしょうか。多いときとかそういうことじゃなくて、この子育て総合支援センターの整備として、お隣にある3,000平方メートルぐらいの市有地を子育て総合支援センターのための市有地としてという位置付けはできないんでしょうか。

川崎こども福祉課長 確かに駐車場スペースは必要であろうと思いますので、その辺りはどういうふうな位置付けにするかについてはこれから詰めていきたいと思っております。

吉永美子委員 どういうふうにご検討されているのかなと思って。例えば財政のほうでこれは駄目ですよ、将来売るんですよとかそういうような財政等のやり取りをしておられるのかどうか、子育て総合支援センターの関係の土地とさせてほしいということを強く訴えておられるのか、その辺が何か分からないので、ちょっと不安があるんですけども、いかがでしょうか。

川崎こども福祉課長 隣接する市の土地について関係課と協議はしているところです。子育て支援センターの駐車場としての利用についても協議をしておりますので、他の用途への使用というのは当面ないというふうに理解しております。その具体的な位置付けについては、これからきちんと詰めていく予定でございます。

吉永美子委員 ちょっとやっぱり何か不安があって、詰めていくけど、頑張っで訴えたけど、いや駄目でしたということというのは、せっかく御提言申し上げていた大型商業施設に入るのであれば、ちょこちょこ寄って、ほかに駐車場もいっぱいあってということは、ぼろっと寄るということができるけど、ここにわざわざ来られて、来てみたら駐車場がない、止められないとか、整理されていないとか、そういったマイナスのイメージから入ってほしくないんですけども、部長いかがですか。そこら辺はきちんとできると確信をこちらが持ってよろしいでしょうか。

河合健康福祉部長 駐車場の件については委員おっしゃるとおり不足しないように、それは何とかするという事は確約したいと思います。

岩本信子委員 私、この子育て支援センター、全体的に見て狭いなという思いがあります。外遊びということも考えるべきではないかなと、今から。そうすると今、駐車場にされようというスペースを外遊びスペースにして、そして新しく駐車場は市有地、私は市の土地なら、そういうふうにして全体を今から考えられるんだったら、そのように考えることはできないんですか。だから駐車場は別にこの中に設けるんじゃないかと、市有地のほうに設けて全体の敷地そのものを外遊びもできるような形の子育て支援センターにしようというそのような発想はございませんか、どうですか。

大濱こども福祉課課長補佐 現段階では隣の市有地につきまして、現駐車場が満車となったときには使うことについて、問題ないという確認までできています。基本的に駐車場の考え方として、今こちらに来られるお客様についてはベビーカー等で来られる方が多いと思います。したがってなるべく建物に隣接したところに駐車場があるほうが望ましいのではないかと考えています。雨の日とかもございませぬので、まず駐車場については建物の隣接したところに設けたいというのを基本的に考えているところでございませぬ。

岩本信子委員 正直言って、今の駐車場のスペースは足りないと思います。はっきり言って。子育て支援センターという形をとられて、いろんなお母さんがたくさん来られるんでしたら今のスペース、何ぼやっても、この20台そこそこの今の見る限り、足りませぬ。それよりも先に隣にある、隣接地なんですよ、離れてはいないんですよ、そしたらもう、計画段階でそれを考えていくべき、今からならまだ間に合うと思いますが、どうですかね、そういうことを考えられませぬか。いかがですか。

川崎こども福祉課課長 駐車場についてはこれから早急にしっかりと考えていきたいと思ひます。

下瀬俊夫委員長 関係課は管財ですか。

大濱こども福祉課課長補佐 管財課が今、管理をしております。

岩本信子委員 それと、この度6,500万円を買われるわけなんですけど、ここに工作物というのがございますよね。一式と書いてあるけど、裏を見たらいろいろと書いてありますが、この冷暖房装置というのがありますが、これは使われるのですか。新しく今から何千万か掛けてされるのですが、この冷暖房装置とか照明はちょっと変わってくるかなとは思いますが、この中の工作物というのはある程度使われる部分というのはあるのでしょうか。その辺をお聞きします。

大濱こども福祉課課長補佐 冷暖房装置につきましては、エアコンになるのですけども、こちらにつきましてはこの度の購入後に予算で委託料を組んでおります。機器点検等を行った上で利用できるものであればそのまま利用するというのも考えられますし、新たに支出したほうがランニングコスト等を考えて効率的であるということになれば、こちらは使わずに別途エアコンを付けるということも考えられます。今それは検討しているところです。

岩本信子委員 かなり一式ということで通信装置とかガス装置、浄化装置、何か工作物でいろいろ書いてあるのですが、こういうものは全部取り除いていくという考えなのかな。どうなんですかね。それはまだ検討していらっしゃるということですか。

大濱こども福祉課課長補佐 利用できるものはもちろんそのまま利用して、なるべく整備費が掛からないような形では考えております。

矢田松夫副委員長 今日の議案の88号は土地と建物を取得するということのみですね。それに付随する意見も出ていますけど、それは答えられますか。これからのことについても。

川崎こども福祉課長 今回の88号につきましては条例の規定に基づいて土地建物の取得についての議決をいただくものでございます。

岩本信子委員 矢田副委員長が言われるように、これに対しての審査はこの建物を買うか買わないか、この金額が妥当なのかどうかという審査だとは思いますが、今言いましたように子育て支援センターが私どもにしてみたら、買われても一体どのような形になっていくのかというのは、一応前のお話では聞いておりますが、本当に場所的に上は相談室で下がプレイルームとかおっしゃっていましたが、ここの監督署は何度も仕事

で行っております。だからこれが全体的に見て広いとは思えないんです。下の部分が。プレイルームを造ると言われても今までいろいろ視察をしてきたところの子育て支援センターを比べてみると、やはり狭いなという思いはございます。ですから先ほども言いましたように、外で少しは遊べるランドも考えて駐車場は別に考えてほしいということを行っているわけなんです。だからこの土地建物を買うか買わないかという問題ではあるのですか。この建物をどう利用していくかということについて私は行っておりますので、是非その点は検討していただきたいと思うのですが、どう考えていらっしゃるでしょうか。これが広いとお思いですか。

川崎こども福祉課長 全国にも子育て総合支援センターというのは造っている自治体とか幾つか知っております。そのセンターの目的というのが自治体によって若干違っているかなというふうにも思っております。本市がこの度ここで整備したいものは目的としましては子育て世代が妊娠期から子育て期までの相談支援の総合的なワンストップ化というのを第一の目的にしております。それに併せて交流スペース等で保護者がくつろぎ、育児の負担の軽減になることにつながればいいなということを思っております。子育て世代の交流も行いますが、それが第一の目的ではなくて、相談支援のワンストップ化というのを第一の目的として考えているところです。これは既存の施設を安価に購入ができるという面で、この施設を購入して子育て支援センターを整備することを現在検討しているところですが、新たに造るというのであれば、それなりのもっと広い施設を建築ということも考えられるものではございますが、この度は既存の施設を購入して、それを活用して総合支援のワンストップ化を図りたいという目的として、このスペースで実施を考えておるところです。

岩本信子委員 子育て支援センターということで各私立保育園のほうに5か所出しているんじゃないですか。それと新しく建てる子育て支援センターとの連携、整合性はどう考えていらっしゃるのですか。

川崎こども福祉課長 市内5か所の保育園に現在、地域子育て支援センターを委託して実施しております。この子育て総合支援センターも地域子育て支援センターの位置付けを持たせまして、市内5か所の連携を図れる総合的な、中心的な施設というふうな認識でおりますので、年に数回委託しているセンターとの情報交換会など、今後それぞれのセンターの事業がより向上していけるような情報提供、情報連携を行っていきたいと思っております。

矢田松夫副委員長 もう既にこの場所に建物を取得して、建てるということは議決しておりますので、これはもとに戻るわけにはなりませんので、やはり30年の供用開始というのであれば議案が通る、通らないは別にして、今日の88号は、やはりスケジュール的なものを、取得した後こうしたいというスケジュールぐらい普通出しますよね。供用開始までの。資料は今日ないでしょ。持っていたらやはり出すべきでしょ。

下瀬俊夫委員長 どうする。あるの。

川崎こども福祉課長 資料でお出しするということに気が回りませんでした。大変失礼いたしました。スケジュールは当然組んでおります。口頭で御説明させていただいてよろしいでしょうか。

下瀬俊夫委員長 あれば、ちょっと出せますか。簡単なものがありますか。

川崎こども福祉課長 大まかなものはございますので、後ほど資料でお配りさせていただきます。

石田清廉委員 基本的なことです。当然事業ですからその目的、それにふさわしい場所であるとか予算であるとか面積とか、目的に沿ったものであることが第一条件なんですけども、プラス安全性という意味で施設が施設ですから線路際になると騒音の問題もありますし、前は道路ですし安全性の問題が確保される場所であるかどうか。それから、現建物が建築後何年経って耐震構造になっているのかどうか。その辺りの確認はなさっていらっしゃいますか。

川崎こども福祉課長 安全性という面ですが、まず防音については建物の中を下見させていただいておりますが、窓ガラスも全部二重サッシになっております。窓を閉めたときには線路の電車の音とかも全く聞こえない。防音はきちんとされております。安全性につきましても敷地と線路の間には高いフェンスがございまして、ここを購入して施設を改修するときにはそのフェンスの安全性については再確認をする予定にしております。耐震につきましても、平成12年に建築されたものですので耐震基準は満たしております。

下瀬俊夫委員長 ほかにいいですか。

岩本信子委員 建物のことについてはではないのですが、今からスケジュール表を出されるということで、ちょっと見てみたいなと思うのですが、子育て支援センター、先ほどから言われるように子育て相談支援を中心に考えているから、そこまではということと言われたのですが、私が言いたいのはこういうのを造るについては、例えばうちの現場の職員、保育園の職員、園長、主任クラスの方々と御相談されたり、本当に子育て支援センター、どういうのがいいのかとかどういう要望があるのかとか、そういう意見をそういう現場の先生方に聞いてほしいなと思うんですけど。コンシェルジュは一人ほどいますよね。その人には相談されるんだろうけど、現場の職員の方々の声というのでもかなり参考になるのではないかなと思うんですけど、その辺りについてはどのようにお考えですか。このセンターを造るについて。

大濱こども福祉課課長補佐 うちの公立保育園の園長等の御意見等をお伺いする中で進めておりますし、この度につきましては市内の子育て支援センターを実施している園に対しましてその利用者に対してアンケートをお願いしております。そういった中で、意見も反映させながらいきめのある事業を実施していきたいと考えております。

矢田松夫副委員長 最初の計画は3,700万円ぐらいと改修費を見積っておられたんですけど、今回は3,000万円ぐらいですけど、基本的に間仕切りはそのまま残すという購入の方法ですよ。今後、予想される改修費が3,000万円、間仕切りを残して3,000万円ですよ。ということは改修ではなくて新たにものを設置するということか、あるいはメンテナンスというか、今の建物が古いから購入したときに改修費が要るのか。新しいものを付けての改修費なのか。その辺は分かりますか。

大濱こども福祉課課長補佐 この度の3,000万円の改修費につきましては主なものとして、繰り返しになりますけども幼児用トイレの設置、床の張り替えとかで、間仕切りは基本的には残すということになっていますけども、壁によってはパネルのようなもので区切っているものもあります。そういうのは多少触る可能性はありますが、基本的には間仕切りは変えなくて、床の張り替えとか、照明も必要があれば、今は事務用の照明が付いておりますので、いい雰囲気が出せるような照明とかにもできたらなと思っておりますけど、その辺は予算の関係もありますし、建築住宅課の建築士とお話をしながら進めているところでございます。

岩本信子委員 しつこいようですけど、先ほど言いましたように20台だったら職員の駐車場で半分くらいは行くような気がしますし、やはり小野田駅のちょうど裏ですよ。電車に乗る人たちから皆見えるんですよ。そうするとやはり外に子供が遊べるようなものがあると宣伝にもなるし、人が分かるんですよ。ここが子育て支援センターで遊びに来てもいいんだなっていうのが分かると思うんですが、今の建物が少しは改修されているいろいろされるんですけど、やはり外に支援センターということが分かるような、アピールできるような施設にしてほしいのですが、さっき言ったように駐車場のスペースも本当に狭いと思いますので、最初から計画を立ててやるということをどうかお願いしたいんですけど、しつこいようですけど、できますか。検討されるというのではなくて、やりますとか、やりたいですくらい言ってほしいんですけどいかがでしょうか。

川崎こども福祉課長 とてもいい立地で小野田駅、電車の中からも見える位置でもありますので、駅側とか道路側とかからでも「あ、ここが子育て支援センターなんだ」という目立つようなものは造っていきたいと思っております。外遊びのスペースについても、現在では計画にはないんですけども、今後是非それは考えていきたいと思っております。

下瀬俊夫委員長 いいですか。ほかになければ幾つか聞きたいんですが、建物と土地それぞれの単価分かりますか。

大濱こども福祉課課長補佐 こちらの購入金額につきましては、土地と建物は分けていなくて、全部一括での購入になりますので、分けたものはございません。

下瀬俊夫委員長 だけど評価に比べてどうなのかという質問があったよね。土地の評価。だから安かったからよかったということなんですか。こういう払い下げというのは基本的に一括して建物と土地を全部一括した価格になっているわけですか、一般的に。

大濱こども福祉課課長補佐 こちらの物件につきましては、先ほども説明いたしましたけども、当初は入札による販売をしておりまして、そのときから土地と建物がセットで予定価格等も設定しておりますので、基本的に分けた金額設定というものはされていないというのが現状です。

下瀬俊夫委員長 子育て支援で議会が提言をした中に、支援センターの考え方というのは基本的に大型ショッピングセンターの中でというのが委員会でも基本的な方向付けがあったわけですね。それじゃなぜかと言ったら、そこに行く動機付け、いわゆるついでに寄るとか支援センターに寄ってみようという動機付けをどうするかというのが一つのネックになってくる可能性があるわけですよ。先ほどベビーカーで来られるんじゃないかという話がありましたが、僕はあそこにベビーカーで行くかなと思うわけね。やっぱり皆さん行くんだったら車で行くんじゃないかなと。だからあそこだけぽつとあるわけだから、わざわざベビーカーで行くというのはあんまり僕は考えられない感じがするんですよ。そうするともっと全体的に支援センターの考え方とか位置付けについて委員会の皆さんの考え方と若干違いが少し浮き彫りになったかなという感じがするんですよ。ちょっとそこら辺で今の考え方が基本的に一つの支援センターであるという位置付けはあるんだけど、地域の支援センターとの考え方、位置付けはどうなるのかとか、あそこに子供さんを連れて行ったときに、プレイランドも含めて子供さんが遊べるような施設になるかならないかというのは非常に大事な問題なんですよ。子供さんが遊ぶという点でいえば、ちょっと弱いかなと。どっちかいったら、保護者が相談に来るとというのが中心でという感じがするんですけどね。そんなことはないですか。

大瀨こども福祉課課長補佐 プレイスペースにつきましては、もちろん遊具とかも置いて図書コーナー等を設けて子供が遊べるような形にはする予定にしておりますし、場合によっては施設利用者がお子さんをそこに遊ばせて、保育士等置く予定にしておりますので、その間相談を待機しているコンシェルジュにするとか、そういったことも考えております。遊ぶスペースとしてはもちろん人の見方によっては手狭であるとか、いろいろあるとは思いますが、確保した上で施設の運営をしていきたいというふうに思っております。もちろんふくふく館のような広大なプレイスペースを設けるのはちょっと難しいんですけども、今の施設で可能な限りそれはやっていきたいというふうに考えております。

下瀬俊夫委員長 どういうスペースを考えていますか。例えば今大型ショッピングセンターなんかにある子供さんが遊べるスペース、あの程度のスペースは取れるわけ。この広さでは取れんのかなと思うんですけどね。

大瀨こども福祉課課長補佐 今いろいろと図面といいますか、事前に建築課の

職員といろいろ詰めておりまして、プレイスペースについては約200平米ぐらいなら確保できるのではないかなというふうには考えております。

下瀬俊夫委員長 200平米ね。

大濱こども福祉課課長補佐 坪に直しますと60坪ぐらいですね。

下瀬俊夫委員長 あそこを買うというときからね、若干懸念材料はあったんですよ。今言ったように一つは動機付けの問題と、もう一つはプレイスペースの問題ですよ。そこら辺がどうしても保護者の相談業務が中心になってしまうと懸念材料としてあるんですよ。

川崎こども福祉課長 今申しました60坪が主にプレイスペースの広さであって、そこには例えば図書スペースであったりとか、ボールプールのようになちよとした遊具であったりとか、また乳児ゼロ歳用の低年齢児のスペースを設けたり、保護者の見守りスペース等そういったものを設置したいと思っておって、そのスペースとは別に例えばキッズキッチンを考えておりますが、乳幼児からの食育推進のキッズキッチンというのはまた別室に設けますし、そのほかに相談室等も別にあります。授乳室等も別にあります。相談来られた方等はそういった別の相談室、2階のお部屋もありますので、そういったところを利用することを考えておりますので、このプレイスペースは相談とは別に交流される方のスペースとして、決して広いものではないかとは思いますが、それなりのスペースにはなるかと思っております。

岩本信子委員 やはり外を利用するウッドデッキみたいなのを作って、下のところで、でプレイルームから出て行って外の空間というか、広さというかそういうものを利用すると、全体的なイメージで、この中だけで収めようとするとうちが狭いなという気がします。できたらウッドデッキみたいなん付けて、上はひさしみみたいなの付ければかなり外も広げられるというか、だから先ほどから言うように駐車場を全然使わないと、別なほうに考えて、そういうふうなことをされたら、また使い勝手というふうなこと、今から建てていくんだから本当にその利用される、利用してよかったね、行ってよかったねと思われる施設にせんやいけんということになると、今言われたように相談施設を中心にプレイルームは60坪ぐらいしかないということになると、やっぱり今度来られるお母さん方

もだんだんあれされるんじゃないかなと思うんです。最初はおもしろくて来られても。ということよりももうちょっと外で開放的なスペースとかそういうふうなことも考えて、本当に使い勝手のいい支援センターにしていきたいなと思うんですが、先ほどから言いますように駐車場のけてそういうふうなことは考えられませんか。

下瀬俊夫委員長 今の市有地は建物から駅に向かって左ですか右ですか。

川崎こども福祉課長 建物から駅に向かって左手になります。外遊びのスペースについては今すぐに「はい作ります」という即答は私の権限ではできませんが、今後前向きに検討したいと思っております。

岩本信子委員 改修費が3,000万と言ったですかね、予算的には。その辺をされるときにもうちょっと使い勝手のいいこと考えれば、本当安く買えたんだから、その辺は上乘せして是非使いやすいものにしていただきたいという要望を出しておきます。

石田清廉委員 大した問題じゃないとは思いますが、近年保育所を造るだけでも近隣の住民からいろいろ反対があったり、そういう問題をよく耳にしますから、ローカルですからそういうことはないと思うけども、やはりそういったこともわきまえて、事前に近辺の、周辺の方々にはよく周知していただくという、そういうことを含めて進めていただきたい。これも要望です。

下瀬俊夫委員長 先ほどの地域支援センターとこの総合支援センターの位置付けですよね。どういう位置付けになるんですか。

川崎こども福祉課長 位置付けとしましては、同じ地域子育て支援センターという事業でありまして、市内5か所の中心的役割というふうになろうかとは思いますが、具体的に何が違って何が同じかといいますと、保育所に委託している地域子育て支援センターではセンターの中で月に何回かいろいろな講座があったりとか、教室があったりとか、園庭開放などがあって、来られるお母さん方はその講座を受けたり、相談受けたり、また在園する保育園児との交流とかそういったことがあろうかと思えます。子育て総合支援センターで具体的にあるものとしては、ここでも例えばキッズキッチンの講座であるとか、子育て世代の保護者であったり、子供であったりを対象としたいろいろな各種講座を開催していきたいと

思っております。そこは各保育所と同じかなと思っております。子育て総合支援センターは保育所とは違って、在園児はいないので在園児との交流はまずございません。でもコンシェルジュがいたり、保健師がいたりということで、専門的なところからのいろいろな情報提供や相談が受けられるといったところが違うのかなというふうに思っております。

岩本信子委員 今ちょっと気になったんですけど、この運営の日にちですよね。土曜日、日曜日も運営されるということはお考えなんですか。やはりお父さんが今頃はイクメンでかなり育児のほうにも出ていらっしゃるし、お父さんにも講座を受けてもらいたいという部分もありますので、今の保育園は昼間だからお父さんがなかなか参加できないということがあるんでしょうけど、できたらここは土曜日、日曜日も運営していただくというふうな方向があるといいなと思うんですけど、その点はどうお考えでしょうか。

川崎こども福祉課長 土曜、日曜は開館をしたいと思っております。

下瀬俊夫委員長 さっき言われた講座をやる場合に大体20人ぐらいのスペースというぐらいの講座なんですか。総合支援センターだから当然市内全域に呼び掛けるわけでしょう。そうすると20人程度では済まないのではないかと思うんですけどね。

川崎こども福祉課長 講座の内容にもよりますが、2階の研修室とか広いスペースもありますので、講座の内容によっては20人のものもあれば、もうちょっと多く参加できるようなものもあろうと思います。その場合には駐車場は当面隣の市の土地を駐車場スペースとして活用する方向を考えております。

岩本信子委員 講座は市が主催としてされるんでしょうけれど、例えばNPOとかいろいろ子育て支援をされている人たちが、ひよこクラブとかいろいろあるじゃないですか。そういう方々が自分たちも講座、講演みたいなものをしていとか開きたいとか、そういうふうな逆に場所を貸してほしいとかいうふうなこともあったりするんじゃないかと思うんですけど、そういうふうなことはどうお考えですか。

川崎こども福祉課長 市が主催の講座はもちろんのことですが、子育てサークルとかそういった活動をされるお母さん方にも貸し館のような形で利活

用していただけるような方向を考えております。

下瀬俊夫委員長 児童館でいろんな事業をやっていますが、ここら辺に集約するということも考えているんですか。

川崎こども福祉課長 児童館の講座を集約ということは考えておりません。児童館の活動は今までどおりと思っております。

吉永美子委員 私労基に行ったことはないんですけども、2階の会議室の2と3というところで相談室をそれぞれにするという予定ですよ。この広さというのは十分にあるんですか。ある程度の今厚狭にある保健センターのような、要はきちんとしたスペースが取れるんでしょうか。元会議室2と3というのを相談室の二つ部屋にすると思うんですけど。一つにするのではなくて分けて二つですよ。個人情報があるからかどうか分かんないですけど。部屋の大きさ的には十分でしょうか。

大濱こども福祉課課長補佐 それにつきましては十分確保できるというふうに思っております。2、3ですけど、それぞれ21平米ぐらい、6坪ぐらいございますので。

吉永美子委員 今の保健センターというのはどれぐらいの大きさですかね。私ある程度余裕持ってやっておられると、厚狭のですよ。この大きさで要は場合によっては市内全域になるわけですよ、これ。市内全域と思っていいんですよ。市内全域の市民が対象ですよ。地区で分かれるんじゃないですよ、健診。12畳が二つはあるんですけども、その大きさ的には器具やら、医師とかが来られたり、保健師がおられたりとかある程度のスペース取ったりする中でやるんじゃないんですか。広さ的には造ってしまったら終わりなので、大丈夫ですかね。

川崎こども福祉課長 今申しました6坪というのは小さな相談室が二つあって、それが大体6坪ずつぐらいなんですけど、それ以外にも広い、今後多目的室や研修室にしようと思っておられるお部屋がございます。それはそれぞれ45平米、60平米ずつぐらいあるもっと広いお部屋がありますので、十分健診等や相談等できるスペースはあると思っております。健康増進課の健診担当の職員とも一緒に同行して確認はしております。

下瀬俊夫委員長 日常的には何人体制ですか、職員。

川崎こども福祉課長 今考えているのは大体七、八名が在駐になろうかと思っております。館長や支援センターの支援員、そして子育てコンシェルジュ、ファミサポの職員、そしてココシエの保健師等で七、八名かなというふうに思っております。

下瀬俊夫委員長 そうすると十二、三台ということになるよね。お客さんが来るスペース。十二、三台、20台のうちだから。

川崎こども福祉課長 職員の車はこの周りの20台のスペースではなくて、隣の市有地の奥のほうに止めてもらおうかと思っております。

下瀬俊夫委員長 ほかに。さっきから言っているようにこの委員会で子育て支援センターを位置付けた場合に、子供さんたちが自由に遊べる空間が要るのではないかという点、それともう一つはさっきから言っているように動機付けですよね。ここにお母さんたちが向かって行くという、そこら辺をどうするかというのが多分今後の課題だろうと思うんですね。そこら辺で隣の空き地も含めてもっと総合的に考えていく必要があるんじゃないかなというふうに思っておりますので。これは多分ここにおられる皆さんの総意でもあるんじゃないかなと思います。ほかに皆さんのほうでなければ質疑を打ち切りたいと思いますが、いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは質疑を打ち切ります。議案第88号建物等の取得について討論のある方。（「なし」と呼ぶ者あり）いいですか。それでは賛成の議員の挙手をお願いいたします。

（賛成者挙手）

下瀬俊夫委員長 全会一致であります。それでは若干休憩を取って、2時から所管事務の調査に入りたいと思います。休憩します。

午後1時50分 休憩

午後2時 再開

2 所管事務調査 子ども子育て支援について
（記録については所管事務調査分に記載）

午後 2 時 4 2 分 散会

平成 2 8 年 9 月 2 3 日

民生福祉常任委員会委員長 下 瀬 俊 夫